

2017年11月20日

「JP労組信越地方大会決定要求書」に関する

今後の取り組み方について

JP労組信越地方本部

- 1 地方大会の議論を受け、地本では9月11日に「地方大会決定要求書」を支社に提出した。
- 2 趣旨は、各職場において、現行要員で業務運行・お客さまサービス・営業推進がはかれるのか、又、勤務時間管理の実態や期間雇用社員の定着化、定年まで働き続けられる職場環境について、職場労使間で認識を一致させること。
- 3 その上で、明らかに要員が不足しているとすればどのように募集し、定着させていくのか、働き続けられる職場をどのように作っていくのか。支社では、そのメニューも示しているが、職場労使で話し合いスケジュール感を以って取り組んでいくことが必要。
- 4 支部では、職場・部会労使窓口に別紙1・要求回答と上記2・3の趣旨を説明し、職場・部会労使窓口開催の指導を行う。
【スケジュール】
職場労使委員会
2018年2月に開催する年末年始業務運行対策に関する職場段階の意思疎通に合わせて実施し意見交換を行う
部会労使委員会
2月期の部会労使委員会で意見交換を行う
- 5 職場・部会労使窓口及び職場・部会労使委員会開催後、支部執行委員会で各局・各部会の状況を把握、集約する。また、支部労使間でも共通認識をもって、対応をはかる。
- 6 その結果を、別紙3により地本へ報告の上、地本・支部において適宜、個別対応を行う。